

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
大田市・邑智郡総合事務組合	大田市、川本町、美郷町、邑南町、邑智郡総合事務組合	H27～R4	H27～R4

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成27年度)	目 標 (令和5年度) A	実 績 (令和5年度) B	実績 /目標	
排出量	事業系 総排出量	2,783t	2,718t	3,379t	124.3%
	1 事業所当たりの排出量	0.70	0.64t	0.78t	121.9%
	生活系 総排出量	12,461t	11,293t	11,155t	98.8%
	1 事業所当たりの排出量	162kg/人	154kg/人	157kg/人	101.9%
合 計 事業系生活系総排出量合計	15,244t	14,011t	14,534t	103.7%	
再生利用量	直接資源化量	t	t	t	%
	総資源化量	t	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	2,001t	1,258t	2,683t	213.3%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 /目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

①排出量

コロナ禍による巣ごもりにより、家の片づけごみが大幅に増加したため。

②最終処分量

災害（火災・水害）ごみが増加したため。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和10年度まで

①

5類移行により、片付けごみは一段落するものとするものとする。また、人口減少もあり、排出量は自然減するものと考えられる。

今後も啓発活動等を通じて、排出抑制・分別排出をお願いしていく。

今後は、高齢化が急速に進み分別排出が難しくなる高齢層の増加が見込まれ、資源化量が減少することが考えられるため、収集方法（拠点回収から個別回収への移行等）を含めた議論を行っていく必要がある。

②最終処分量

搬入の際には可能限りの分別をお願いする。

(都道府県知事の所見)

【ごみ処理】

ごみ処理については、今後も施策の推進、拡充を確実に続け、循環型社会形成に向けた排出抑制、リサイクル率の向上する取り組みに積極的に努められたい。